



2022年3月期 第2四半期 決算補足資料

2021年11月15日 (月)
REXT株式会社
(東証JASDAQ 証券コード7697)

REXT社 主要事業



2021年4月1日、共同株式移転の方式により、株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社HAPINS及び株式会社ジーンズメイトの完全親会社として設立されました。

1. 緊急事態宣言延長の影響を受け、売上が伸び悩む
売上高前年同期間対比11.4%減少
2. 様々なコスト低減施策により、損益分岐点が大幅に改善したものの、それを上回る売上棄損により利益は減少
営業利益前年同期間対比78.7%減少
3. 非対面事業強化の取り組みにより
EC売上前年同期間対比36.2%伸長

- 1. 決算の概要**
- 2. 営業概況**
- 3. 今期の主なアクション**
- 4. 2022年3月期業績予想**

1. 決算の概要 <連結損益計算書>



緊急事態宣言延長により厳しい状況が続いたものの、営業黒字は死守

(単位：百万円)

	※1 前年同期間 3社合計値	2022年3月期 上期累計	前年同期間対比	
			増減額	増減率
売上高	※2 28,753	25,480	▲3,273	▲11.4%
営業利益	400	85	▲315	▲78.7%
経常利益	409	40	▲369	▲90.3%
当期純利益	▲245	▲404	▲159	-

※1 前年同期間については、株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社HAPiNS、株式会社ジーンズメイトの3社の合計値を参考値として記載

※2 今期より収益の認識基準を新基準へと変更したため、前年同期間売上高についても同様の基準に基づき算出

1. 決算の概要 <連結貸借対照表>







(単位：百万円)

	※1 前年同期間 3社合計値	2022年3月期 上期累計	前年同期間対比
			増減額
流動資産	24,221	21,256	▲2,965
（現金及び預金）	7,843	5,004	▲2,839
（商品）	12,834	13,260	+426
資産合計	37,386	33,291	▲4,095
負債合計	26,869	22,208	▲4,661
（有利子負債）	14,470	12,659	▲1,811
純資産の部	10,516	11,082	+566
自己資本比率	27.2%	31.8%	+4.6%

※1 前年同期間については、株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社HAPiNS、株式会社ジーンズメイトの3社の合計値を参考値として記載

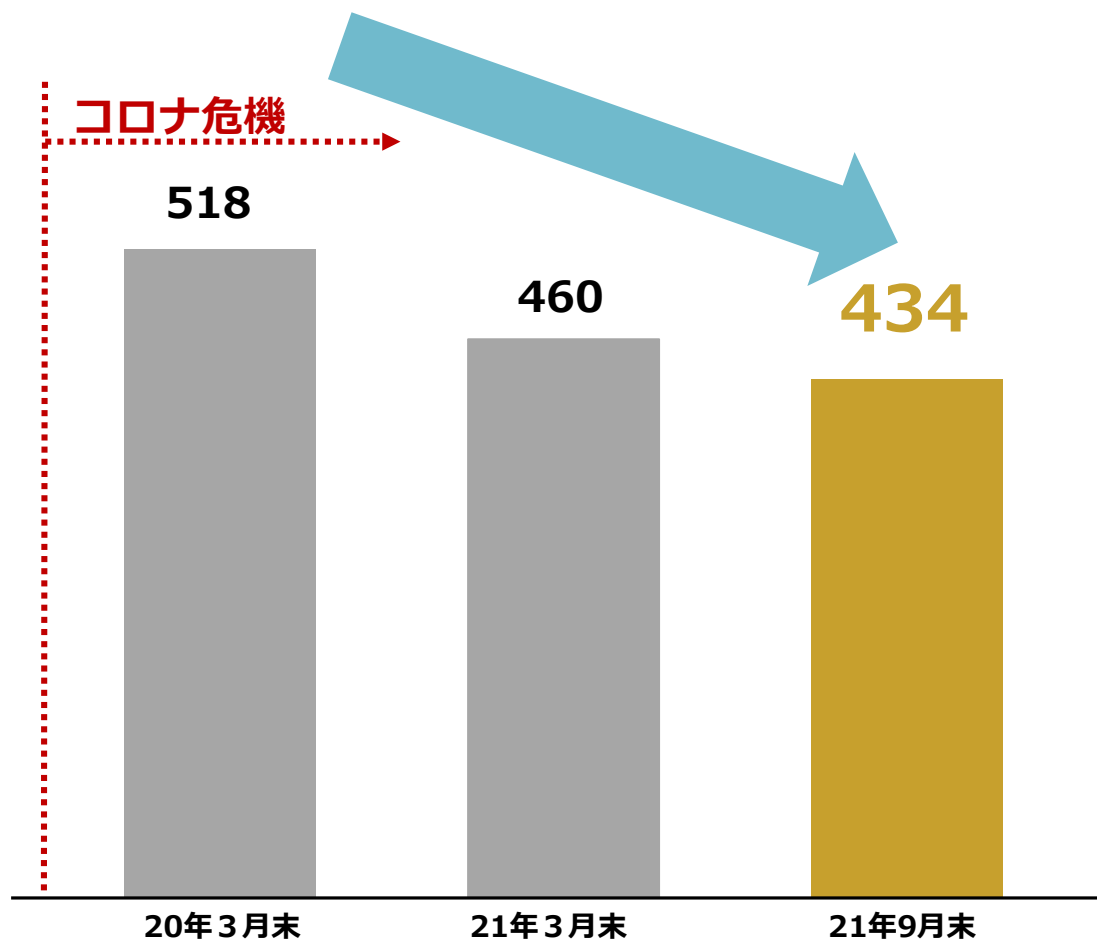
2. 営業概況<セグメント業績概況>

(単位：百万円)	売上高		営業利益		業績の概況
	2022年3月期 上期累計	前年同期間比 (増減率)	2022年3月期 上期累計	前年同期間比 (増減率)	
	16,176	※▲7.0%	424	+53.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・巣籠もりの影響は少なくなるも、足元は堅調に推移 ・アウトドア専門店「APORITO」をWonderGOO店内に出店 ・「次世代型ハイブリッド店舗」(REXTA×GOO×Ganryu)を2店舗出店 ・PBコスメ「EGARD」の開発、販売開始
	4,731	※▲13.7%	238	+61.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は前年の巣籠もり需要を下回る水準で推移 ・特に主要部門のレンタル事業は低調 ・構造改革の進展によるコストの最適化や高粗利業態への転換により収益は改善
	2,459	▲23.6%	▲316	-	<ul style="list-style-type: none"> ・EC事業は堅調に伸長も、モール内店舗は時短・休業対応もあり集客が戻らず苦戦 ・8月の長期間の天候不順、9月の残暑等も影響
	2,250	▲15.6%	▲325	-	<ul style="list-style-type: none"> ・EC事業は堅調に伸長も、主力である都心部の路面店の集客が戻らず苦戦 ・8月の長期間の天候不順、9月の残暑等も影響

※今期より収益の認識基準を新基準へと変更したため、前年同期間の売上高について同様の基準に基づき算出

2. 営業概況 <実店舗の戦略的統廃合>

店舗数推移(店)



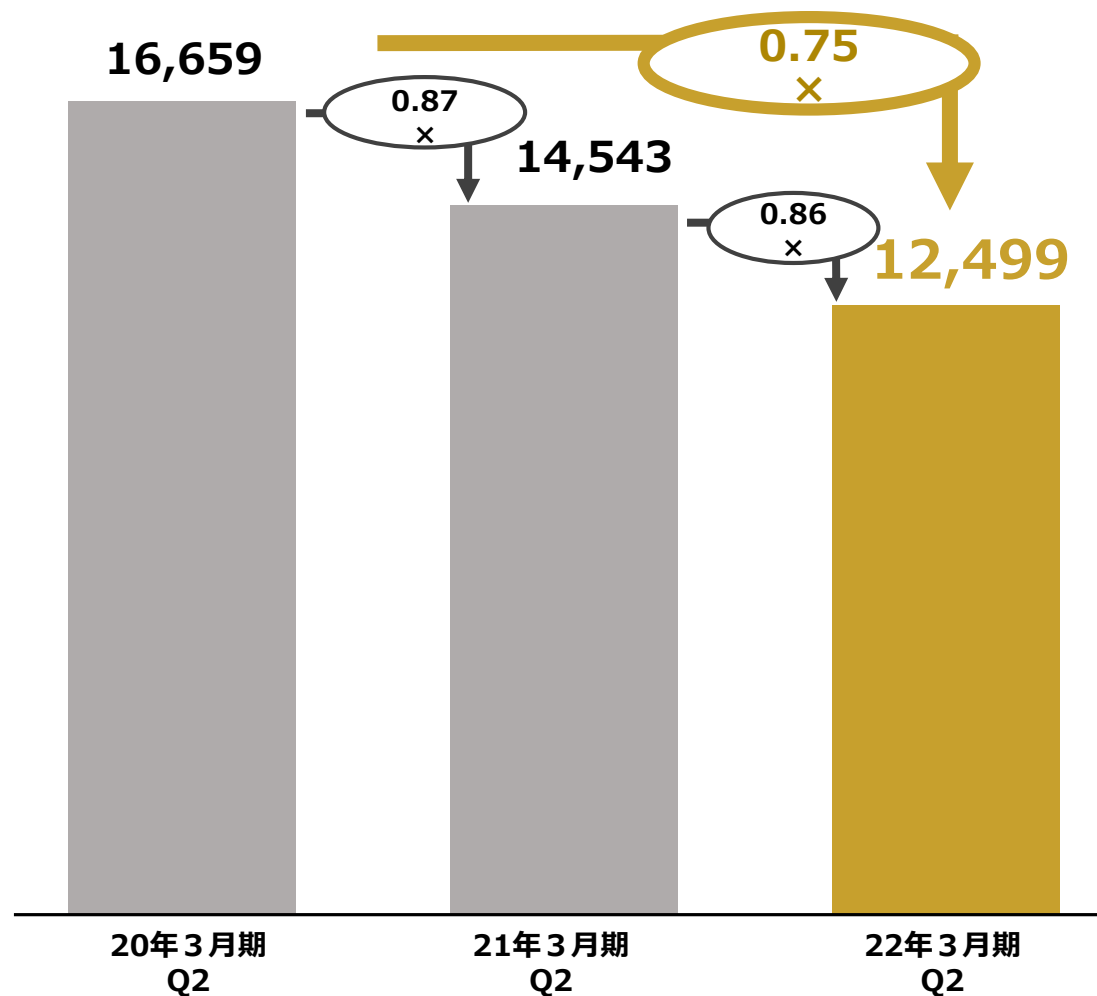
新型コロナウイルスによる
需要の変化に対応
80店舗以上統廃合



2. 営業概況 <収益構造の改善>

損益分岐点売上高

単位：百万円



コロナ前から
損益分岐点売上高
75.0%に低下

固定費を中心とした
コスト削減により
収益構造が改善

※損益分岐点売上高：固定費 / [1 - {(原価+変動費) / 売上収益}]

2. 営業概況 <販管費の最適化>

販管費内訳

単位：百万円

13,173

11,208

1,837

461

1,564

3,316

5,995

1,792

625

1,193

3,030

4,569

■ その他変動費

■ 広告宣伝費・販促費

■ その他固定費

■ 地代家賃

■ 人件費

21年3月期
Q2

22年3月期
Q2

・ 荷造り運賃および消耗品の見直し
▲45百万円

・ 広告・販売促進の強化 +164百万円

・ 減資に伴う租税公課の低減および水道光熱費その他雑費の低減 ▲371百万円

・ 不採算店舗の閉鎖等 ▲286百万円

・ 人員配置の大幅見直し ▲1,426百万円

変動費
+1.2億円

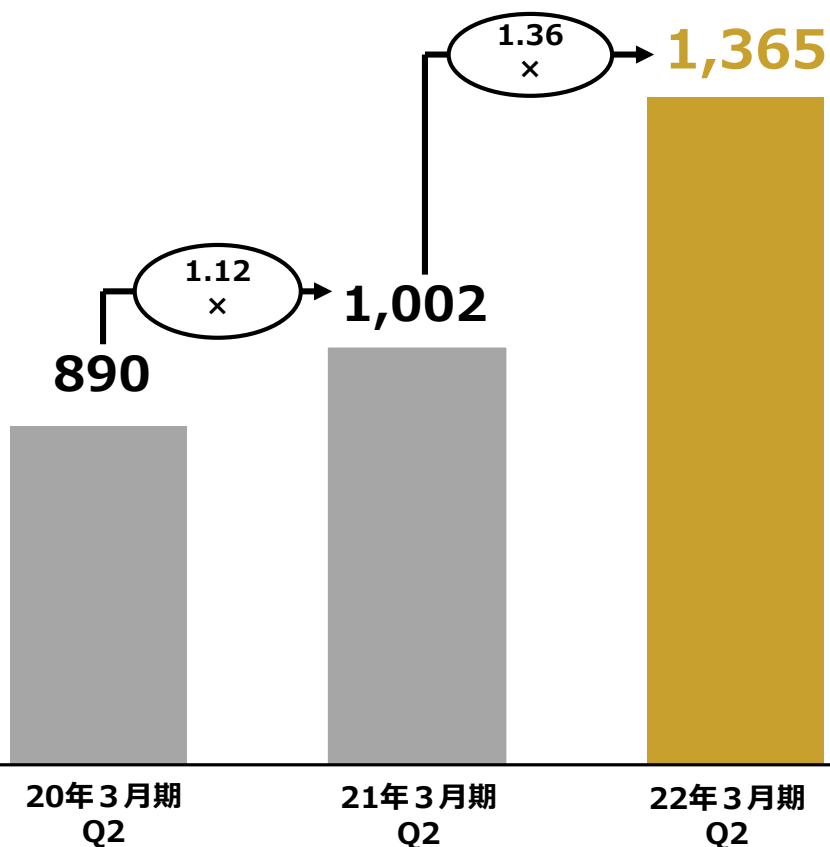
固定費
▲21億円

※販管費はコロナ関連特別損失振替分(人件費、地代家賃等)含む
(21年3月期Q2：4.5億円、22年3月期Q2：2.5億円)

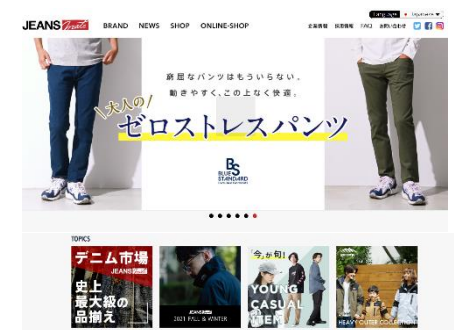
3. 今期の主なアクション

2Q累計 EC売上高

単位：百万円



非対面事業（EC）売上は、WEB販促施策積極実施や在庫拡充等により、自社・外部モール店舗共に堅調に推移



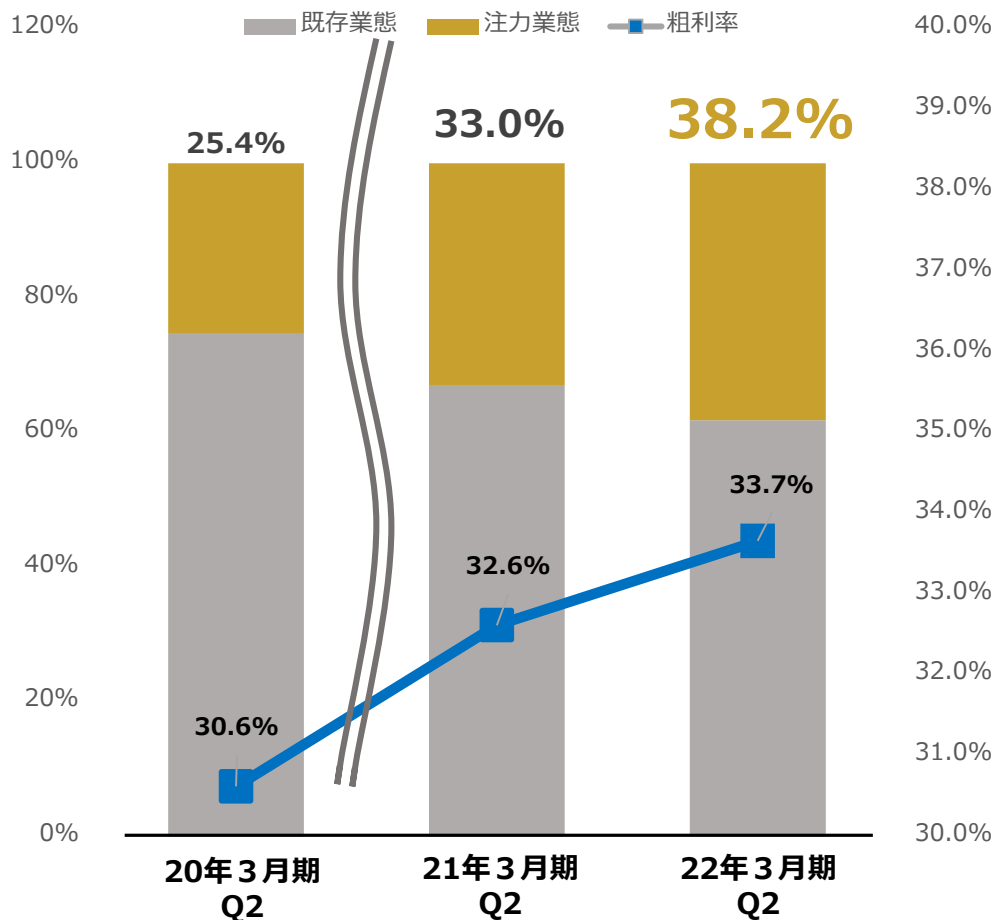
3. 今期の主なアクション



「仕入れ型小売業からの脱却」と「高収益業態への転換」をテーマに
既存事業に捕らわれない収益源へのチャレンジ

年度別売上構成比/粗利率推移

単位：百万円



(グループイン前)

高収益業態の比率上昇により 利益率良化

① アウトドア商材の導入



② 次世代型ハイブリット店舗の出店 (リユース×エンタメ×トレカ)



③ PBコスメの開発・販売

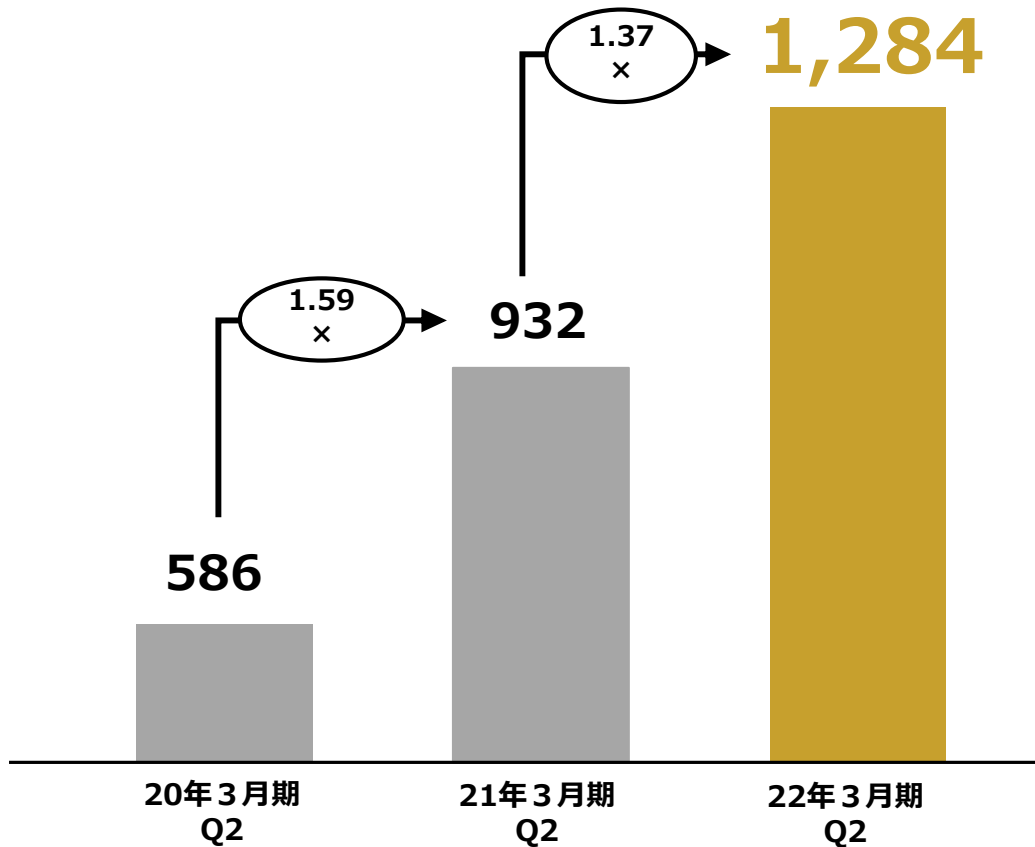


3. 今期の主なアクション



Fuku Fuku Nyanko売上

単位：百万円

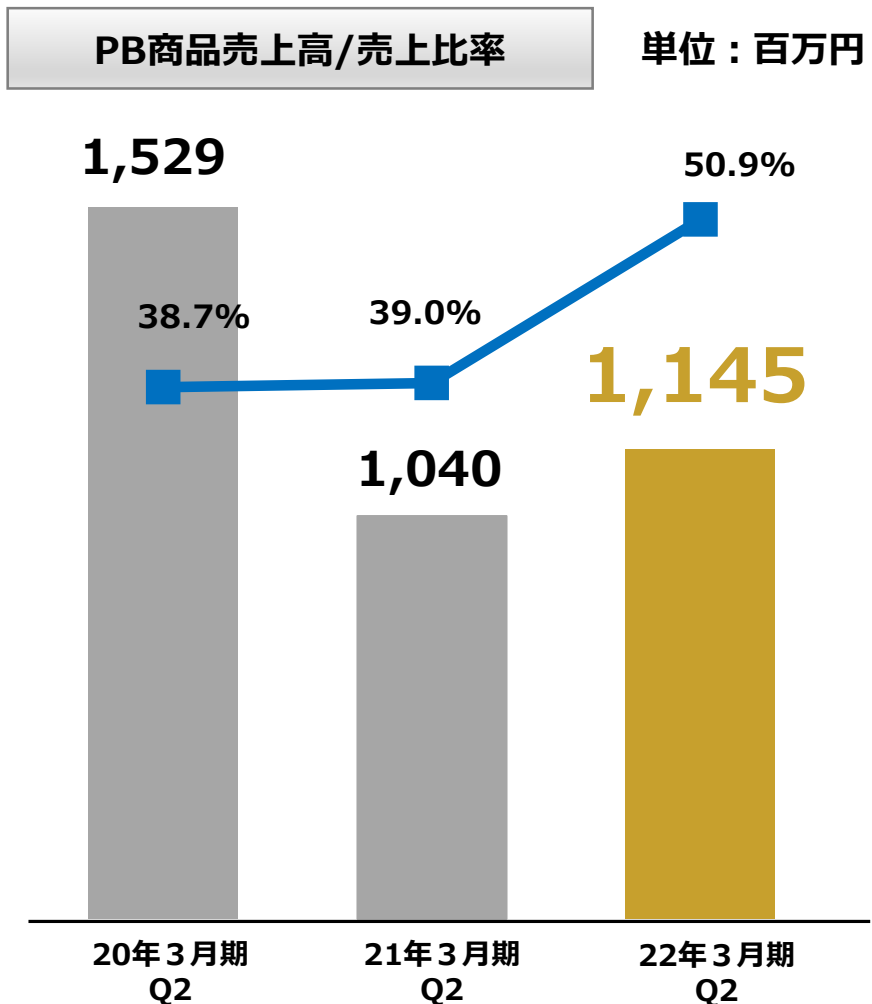


SNSを中心にキャラクター
マーケティングを強化
オリジナルキャラクター
Fuku Fuku Nyanko の
売上高は拡大成長



3. 今期の主なアクション

JEANS *mate*

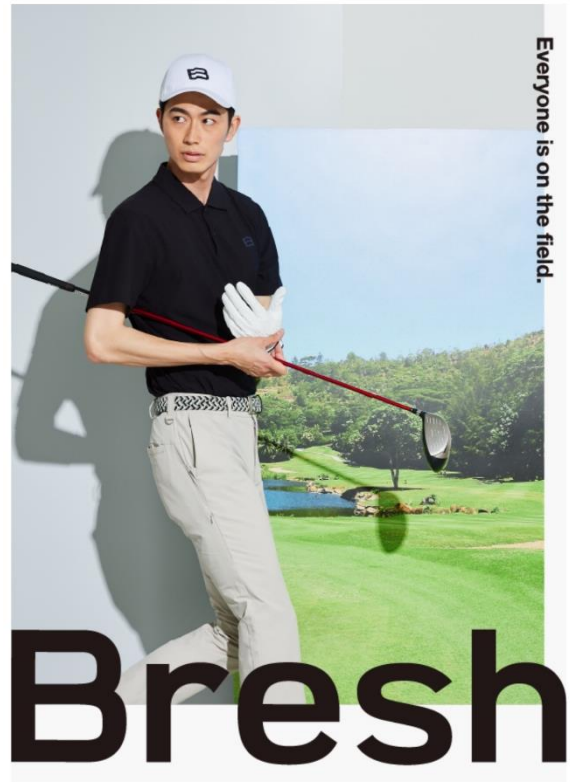


コロナ影響で売上全体が落ち込んだ前期から、機能性高くコストパフォーマンス優れた商品群を拡充し、加えてプロモーションにも積極的に取組み
PB売上高は再拡大及び比率上昇



3. 今期の主なアクション

新規ゴルフウェアブランド『Bresh』



アウトドアショップ『APORITO』



EC販売主体の『Bresh』と新規業態『APORITO』の出店に注力

4. 2022年3月期 連結業績予想



(単位：百万円)

	※1 前年同期間 3社合計値	2022年3月期	備考・特記事項
売上高	※2 59,224	53,000	緊急事態宣言の度重なる延長の影響を受け、売上高は前年に比べ大幅に減少する見込
営業利益	1,469	870	様々なコスト低減策を実行するも、売上高の減少を賄いきれず減益の見込
経常利益	1,466	730	
親会社株主に帰属する 当期純利益	91	▲80	新型コロナウイルス感染症に伴う特別損失および選択定年制度に伴う特別損失を計上

※1 前年同期間については、株式会社ワンダーコーポレーション、株式会社HAPiNS、株式会社ジーンズメイトの3社の合計値を参考値として記載

※2 今期より収益の認識基準を新基準へと変更したため、前年同期間売上高についても同様の基準に基づき算出

本資料は、当社および当社グループの企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

